

「札幌市の財政を考える」 に寄せられた ご意見を紹介します

12月号の「聞かせてください、あなたの声」で企画した札幌市の財政問題について、これまでにたくさんのご意見をいただいています。その中から一部を紹介します。

このページで紹介しているご意見は、誌面スペースの都合から一部を抜き出して掲載しています。

市は財政状況をもっと市民に周知すべき

こういつた財政情報を市民に向けて周知徹底していくことが第一に必要だと思います。

(厚別区・40歳代男性)
札幌市の財政力指数が、政令指定都市の中で下から二番目とは驚きました。

(北区・60歳代男性)
今後情報開示を基本に市の財政がどうなっているのか、中間報告も含め広報誌で紹介してほしいです。

(豊平区・50歳代男性)
市の第三セクターの財政状況がどうなっているのかなど、もっと掘り下げた内容を知りたいです。

(白石区・60歳代男性)
民間企業の収支は企業会計原則によって処理されています。過去三〜五年間の内訳を付けた「貸借対照表」と「損益計算書」も作成して一緒に公表すべきだと思います。

(南区・60歳代男性)

行政は無駄が多いと思う まずはコスト削減が先

本当に無駄なものはないかよく考えてほしいです。職員

の給料も高過ぎるし、職員数も多過ぎると思います。

(白石区・40歳代女性)
投資に見合う利益が得られない建物の建設などは、当面見合わせるべきではないでしょうか。市は財政の苦しさを訴える前に支出の削減をもっと考えるべきだと思います。

(西区・70歳代男性)
まず、市が財政建て直しの明確な具体例を示してから、市民に負担を求めるとき、苦しい苦しいと言っているだけではだめである。

(豊平区・30歳代男性)
今後、急激な退職金支出の増大を予定しているようですが、退職金支払いのために発行する市債なんてことは、考えなくてください。

(南区・40歳代男性)
市債残高が一人当たり八十四万円とは驚きです。税金の上手な使い方をお願いします。

(中央区・年齢不詳女性)

市独自の財源確保も検討してみてもいい

バスや地下鉄など、民営化できるものは、すべて民営化し徹底的に行政をスリム化する。最低限必要な行政サービスについては、財源確保のた

特集の企画や構成について

↓とても分かりやすく編集されていたと思います。

(南区・20歳代女性)

↓毎年、財政の特集はよく分かってきたのですが、今回は平易に書かれていたので理解できました。

(南区・70歳代女性)

↓札幌市の財政をグラフやイラストを使って説明しており、分かりやすかったです。

(中央区・50歳代女性)

↓地方公務員出身の小生は十分理解できたが、そうでない市民にはもう少し理解しやすい内容の方がよいと思う。

(中央区・60歳代男性)

↓一つ一つの専門用語を理解するのが難しかった。注釈を付ける、分かりやすくなったと思う。

(手稲区・20歳代女性)

↓「財政を家計に例えると」は分かりやすかった。預金しないところが家計と違うと感じた。

(中央区・50歳代女性)